

# ゆいちゃんはシリタガリン!! どうしておぼろさまていのの? 星木レイ



# 浄土宗コドモタイムズ

第54号

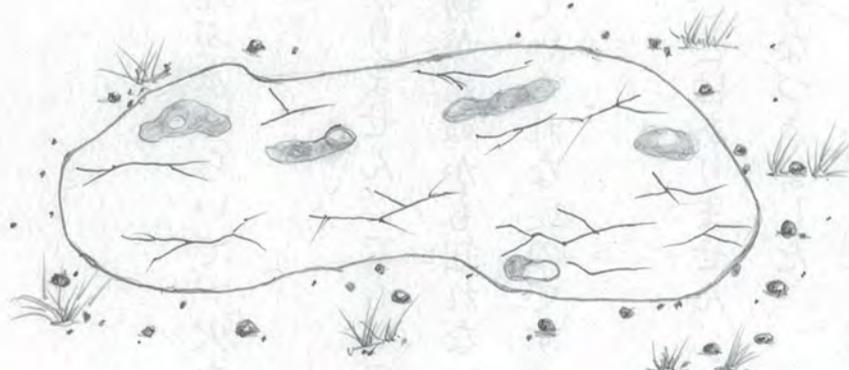
発行 浄土宗児童教化連盟

発行人  
 三宅 明信  
 〒833-0013  
 筑後市北長田706-2  
 林鐘院内  
 TEL 0942-52-5524  
 FAX 0942-54-1189

## うす氷

詩・絵 今井 康隆

うす氷の上を  
 風がすべっていく  
 風がすべっていく  
 びゆる ひゆる ひゆるーと  
 風がわたっていく  
 そーつと、  
 人さしゆびで刺してみたら  
 穴があいてしまった  
 ひゆる ひゆる ひゆるーと  
 冷たい風が頬にあたったが  
 キッチンラップのようなうす氷は  
 まだ、しばらく溶けないで  
 空と私を写している  
 お堂の影のうす氷は  
 だれにも気づかれずに  
 ピーンとはって  
 さびしい私の心を写している



# お釈迦さまと動物のお話

## 「あきらめないぞ」



昔むかし、ヒマラヤという山の中に竹の林があつて、そこにはライオンやトラ、ウサギにリスなど多くの動物たちがなかよく住んでいました。

ある日、林の中で火事が起こりました。火の勢いは強く、動物たちはみんなあわてて逃げていきます。

そこへ一羽のオウムが森の中の池に飛びこんで、燃えさかる火の上から羽に残っている水滴を落とします。しかしそんな少ない水では火は消えません。

オウムは何度も何度も池に飛んでいき、羽のわずかな水を火にふりかけることをくり返しました。それでも火のいきおいはおとろえません。

ほかの動物たちはオウムに言います。「そんなことをしても火は消えないよ、早くいっしょに逃げよう！」

オウムはくたくたになっても、水をかけることをやめませんでした。

そこに仏さまがあらわれて言いました。

「オウムよ、君の運ぶ水ぐらいで、火を消せると思うのかい」

「消せないかもわかりません。でもこのままだと森にいる動物が死ぬかも知れないと思うと、じっとしていられないのです。最後まで続けます」

オウムはやめることはありません。

仏さまは大きくうなづきました。

すると不思議なことに、空が急に暗くなつてきて大雨が降り出したのです。やがて火事は消えました。

この時のオウムはお釈迦さまの前世です。



質問

お墓はなぜ石でできているのですか。  
 (京都 小五 男子)

答え

日本には磐座や石舞台などの石の文化が残っています。また道ばたにられるお地藏さんも石でほられています。石は聖なるものとして考えられていたのでしょう。日本には昔から石には霊が宿ると信じられてきました。

「古事記」に次のようなお話があります。

日本列島を生んだとされるイザナミノミコト(女の神)が亡くなった時、あの世に会いに行つたイザナギノミコト(男の神)でしたが、変わり果てたイザナミの姿を見てしまったためにあの世の国から追いかけられます。

イザナギが黄泉平坂(ヨモツヒラサカ)まで来ると、千引岩(ちびきいわ)という大きな岩で出口をふさいで逃げ切ることができたのです。これが墓石の始まりとされます。

千引岩は生きている者と死者が相対する石です。これ以降、死者をまつる仏塔として石のお墓が作られてきたのではないかと思われま

こ  
 ども  
 供

年中行事

「節分」

みなさんは節分って知ってますか。二月三日が節分に当たります。節分には何をしますか：そうだね豆まきだね。

節分は「せちわかれ」ともいって季節の変わり目：立春・立夏・立秋・立冬の前の日のことをいいます。でも今では立春の前の日だけが節分として、豆まきなどの行事が行われています。

節分に豆をまくのは鬼：邪気をはらうためです。邪気というのは悪い気のことです。では悪い気とは何でしょうか。それは病気やケガ、事故などの不運な出来事で、目に見えるものではありません。

人間はだれでも健康で幸せに暮らしたいものです。病気や事故にはあいたくありません。そこで邪気、悪い気を鬼という目に見えるものとして追いはらうというのが節分の行事です。豆まきの行事を追儺式とも鬼やらいともいいます。

豆をまくのは「魔滅」、つまり魔が減るとして、邪気をはらう力があると信じられていたからです。立春は昔は一年の最初の日でした。つまり節分は今でいう大みそかです。節分の行事は一年の最後の日に、その年の厄(わざわい・よくないこと)をはらう意味だったのです。

これも仏教の言葉だよ!

「ひびく」

ひどい言葉・ひどい行い・ひどい成績など、悪い、残酷な意味で使われます。

ひどいは「非道い」からきています。

さとりを求める仏教の修行のことを仏道ともいいますが、その仏道からはずれることを非道とよびました。

修行中の間違った行い、好ましくない行いということ、残酷などの意味で使われるようになりました。



ちがいがし

みんなよう 考えよう



絵：岡本こずえ



右の絵と左の絵の違いを5つ見つけてください。

ハガキに答えを書いて左記まで送ってください。正解者の中から抽選で30名に記念品をお送りします。記事の感想や意見もいっしょに書いてくださいね。しめきり3月20日です。

送り先

〒833-0013

筑後市北長田706-2

林鐘院内

浄土宗児童教化連盟事務局

TEL 0942-52-5524

FAX 0942-54-1189

前回の答え



お知らせ

みなさんからの記事を待っています。学校でのこと、家の中でのこと、家族のこと、友だちのことなどを書いて送ってください。またみなさんからの作品も待っています。絵や作文、お習字など何でもけっこうです。

◇送り先は 〒833-0013 筑後市北長田706-2 林鐘院内 浄土宗児童教化連盟事務局

TEL 0942-52-5524 FAX 0942-54-1189

感想もいっしょに書いてくださいね。

ぶくぶく編集室



平成三十一年は平成最後の年で、五月一日から新しい元号に変わります。どんな名前になるのでしょうか。四月に発表される予定だそうです。元号はもともと中国の制度で、朝鮮から日本に伝わりました。しかし現在でも元号を使っているのは日本だけです。

日本で最初の元号(年号)につける名前(元号)は六四五年の大化とされます。古くは天災やおめでたいことが起きた時などで名前が変わったのですが、明治以後は天皇一代につき一つの元号と定められました。元号を選ぶ条件があつて、国民の理想にふさわしいような、よい意味を持つもの・漢字二文字である・書きやすいこと・読みやすいこと・これまでに元号または送り仮名として使われていないことなどです。 明治・大正・昭和・平成とうつり変わり、また新しい元号の年が始まります。よい時代になることを願います。